

中小企業あきた

- 1 会員組合・組合員企業の課題解決に役立つ支援を積極的に展開しました～平成28年度本会実施事業を振り返って～… 1
- 2 県内高速道路の早期全線開通について国へ要望 …… 3
- 3 オール秋田による「秋田いぶりがっこ」のブランド力向上を目指す… 3
～秋田県いぶりがっこ振興協議会 設立総会を開催～



○景況レポート 1 月分 …… 4

- 話題の広場
中央会事業より… 6
- アラカルト… 8
- 支援団体活動レポート… 9
- インフォメーション… 10



TOPICS 1 会員組合・組合員企業の課題解決に役立つ支援を積極的に展開しました～平成28年度本会実施事業を振り返って～

本会では、活動ビジョンの基本理念である「強い組合・強い企業づくり」を一層推進するため、平成28年度も組合事業運営の強化に向けた「組合活力向上事業・研修会」や青年部の育成強化を目的とした「青年部研究会事業」等を11組合を対象に実施したほか、事業戦略立案等の課題を抱えている2つの任意グループ等を対象に「組合設立支援事業」を実施するなど、会員組合・組合員企業の課題解決に役立つ支援を積極的に展開しました。

本号では、今年度実施した事業内容や事業実施により得られた成果の一部をご紹介します。

組合活力向上事業・研修会 (実施組合：7組合)

一組合員企業の営業力強化を目指すー
協同組合秋田卸センター(桑原功理事長)

【背景・課題】

経営環境や流通体系の変化に伴い、組合員企業においては同業他社との差別化を図るための営業力の強化が課題となっています。



【事業内容】

新たな販路の拡大へ繋げ、組合員企業の経営力の向上を図るため、組合員企業の中核を担う管理職を対象に、営業力を強化していくための研修を実施しました。

【事業実施により得られた成果】

営業ツールを活用した営業方法を習得したことにより、初回訪問時の対応や顧客との距離感を縮めることが可能となり、顧客の困りごとに誠心誠意対応することで同業他社との差別化が図られ、実際の商談にも繋がっています。

青年部研究会事業 (実施組合：4組合)

一10年後を見据えた取組の必要性を学ぶー
秋田県自動車車体整備協同組合青年部会
(阿部隆 部会長)

【背景・課題】

自動車整備業界では、日々進化する新技術への対応や市場が縮小する中で事業継続を図るための経営ビジョンの策定が課題となっています。



【事業内容】

鈹金に関する最新技術の実習とともに、鈹金工場における効率的な運営や10年先を見据えた経営ビジョン策定の手法について、具体例を交え学びました。

【事業実施により得られた成果】

「10年後に生き残るための準備」が最重要課題であることを認識し、経営ビジョンの策定や最新技術を習得することの必要性について改めて認識することが出来ました。

経営力強化支援事業 (実施企業：2企業)

－不良品低減による生産性の向上を図る－
株式会社アキタクロージング(塩谷良久社長)

【背景・課題】

男子学生ズボンを製造していますが、近年は生地やデザインが多種多様で安定的に加工することが難しくなっており、品質にもバラツキが見られ不良品も発生しているのが現状となっています。



【事業内容】

不良品の発生率を低減し生産性の向上を図るため、製造ラインの改善に向けた支援を集中的に実施しました。

【事業実施により得られた成果】

本事業において改善支援を行った結果、事業実施前に約23%であった不良品の発生率が、実地支援実施後には平均で約13%に改善されました。

ブランドチャレンジモデル事業 (実施企業：2企業)

－お土産品の訴求力向上に向けた取組－
株式会社川口屋(川口正信社長)

【背景・課題】

観光客をターゲットとしたお土産品の強化に向け、認知度の高い「バター餅」のブラッシュアップによる売上拡大を図ることが課題となっています。



【事業内容】

県外客への手土産としての訴求力を向上させるため、他社のバター餅との比較調査を行った上で、パッケージのリニューアルや販売促進のためのアドバイスを実施しました。

【事業実施により得られた成果】

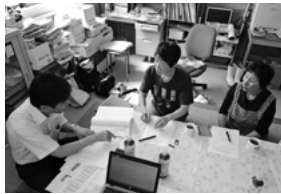
新商品として「金のバターもち」を完成させ、2月中旬より生産を開始し3月上旬より秋田駅・秋田空港で店頭販売を開始する予定であり、今後の売上拡大が期待されます。

新設組合フォローアップ事業 (実施組合：4組合)

－安定した組合事業運営を目指して－
企業組合東由利特産物振興会(村上主江理事長)

【背景・課題】

今後の人口減少や高齢化を踏まえ、安定した事業運営により農産物の加工販売を行っていくため、組合の事業運営体制の整備を図っていくことが課題となっています。



【事業内容】

安定した組合事業の運営に向けて、現状分析を詳細に行った上で目標を設定し、目標実現のための対応策について明確にしました。

【事業実施により得られた成果】

今後取り組むべき課題の解決策について検討を重ねた結果、商品の価格設定の見直しやラインナップの追加を行いました。

また、今後の目標が明確となり組合員同士で情報共有を図ったことにより、協調体制を一層構築することが出来ました。

組合設立支援事業 (実施グループ：2グループ)

－異業種による組合設立に向けた研究－
地域資源活用グループ(12組合・企業)

【背景・課題】

県内の地域資源を活用した商品やサービスは数多く存在しますが、大半は地域の小規模加工業者が製造から販売までを行っており、商品力が脆弱であることが課題となっています。



【事業内容】

原料の生産事業者をはじめ、企画・販売事業者までを事業協同組合の組合員として取り込み、地域食材を統一ブランドとして売り込む事業を展開している先進事例等について研究しました。

【事業実施により得られた成果】

異業種による組合設立の際に注意すべき事項をはじめ、組合運営や共同事業の実施に必要な収入の確保など、様々な対応策について具体的に研究することが出来ました。

平成29年度中小企業活路開拓調査・実現化事業(補助金)のご案内

全国中小企業団体中央会では、「新たな活路開拓・付加価値の創造」や「既存事業分野の活力向上・新陳代謝」など、中小企業が単独では解決困難な諸テーマについて、中小企業組合等が連携して改善・解決を目指すプロジェクトを支援する標記事業の募集を行っています。(補助率：10分の6)

第1次締切 平成29年3月10日(金) **第2次締切** 平成29年4月28日(金)

※ 各締切ごとに審査・採択を行い、予算枠に達した時点で終了となります。

詳細につきましては、全国中央会のホームページ(<http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/29katsuro-project.html>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】 本会 事業振興部(商業振興課・工業振興課) ☎018-863-8701